

科目区分	専門教育科目	授業科目名	臨床栄養学Ⅰ（病態の理論）			科目コード	26S504	担当者	古賀 克彦			担当形態	単独
対象学科・コース	生活創造学科 栄養士コース	配当年次	1年次	開講学期	秋学期	単位数	2	必修・選択の別	必修	免許・資格要件	栄養士必修		
授業形態	講義	履修条件									教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	科目区分	
実務の経験を有する教員担当科目		実務の経験内容及び科目との関連									科目に含まれることが必要な事項		

授業の主題	学生が各種疾病と食事療法との関係を理解することを目的とする。	課題等への対応（フィードバックの方法等）	課題の提出はありませんが、オフィスアワー等の時間に授業内容に関する質問に対応します。定期試験で成績不良となった学生には、追再試験期間中に別途時間を設けて、解説や質問の受付などを行い、理解を深める支援を行います。
授業の方法	講義形式	アクティブ・ラーニングの実施方法	授業内に過去の栄養士実力認定試験の問題を解き、解答の発表や検討を行う。

回数	授業計画	事前・事後学修	回数	授業計画	事前・事後学修
第1回	消化器疾患 胃炎（疾患の定義、分類、病因、症状、診断、治療法、食事療法）	シラバスを読み、科目の概要を確認する。また、教科書の胃炎の部分をあらかじめ読み予習を行っておく。	第9回	肝・胆・膵 肝癌・脂肪肝（疾患の定義、分類、病因、症状、診断、治療法、食事療法）	教科書を用い肝癌・脂肪肝についてあらかじめ予習を行っておく。
第2回	消化器疾患 胃・十二指腸潰瘍（疾患の定義、分類、病因、症状、診断、治療法、食事療法）	教科書を用い胃・十二指腸潰瘍についてと消化器の解剖生理について予め予習を行っておく。	第10回	肝・胆・膵 胆石・胆嚢・膵臓疾患（疾患の定義、分類、病因、症状、診断、治療法、食事療法）	教科書を用い胆嚢・膵臓疾患についてと、胆嚢・膵臓の解剖生理について予め予習を行っておく。
第3回	消化器疾患 下痢・便秘（疾患の定義、分類、病因、症状、診断、治療法、食事療法）	教科書を用い下痢・便秘についてあらかじめ予習を行っておく。	第11回	内分泌・代謝 脂質異常症①（疾患の定義、分類、病因、症状、診断）	生化学の脂肪の代謝の部分と、教科書を用い脂質異常症についてと予め予習を行っておく。
第4回	消化器疾患 炎症性腸疾患（疾患の定義、分類、病因、症状、診断、治療法、食事療法）	教科書を用い炎症性腸疾患（クローン病および潰瘍性大腸炎）について予め予習を行っておく。	第12回	内分泌・代謝 脂質異常症②（疾患の治療法と食事療法）	教科書を用い脂質異常症についてあらかじめ予習を行っておく。
第5回	消化器疾患 胃癌・大腸癌（疾患の定義、分類、病因、症状、診断、治療法、食事療法）	教科書を用い胃癌・大腸癌についてあらかじめ予習を行っておく。	第13回	内分泌・代謝 糖尿病①（疾患の定義、分類、病因、）	教科書を用い糖尿病についてあらかじめ予習を行っておく。
第6回	肝・胆・膵 肝炎①（疾患の定義、分類、病因、症状、診断）	教科書を用い肝炎についてと肝臓の解剖生理について予め予習を行っておく。	第14回	内分泌・代謝 糖尿病②（疾患の症状、診断、合併症、疾患の治療法と食事療法）	教科書を用い糖尿病についてあらかじめ予習を行っておく。
第7回	肝・胆・膵 肝炎②（疾患の治療法と食事療法）	教科書を用い肝炎についてあらかじめ予習を行っておく。	第15回	内分泌・代謝 痛風・甲状腺疾患（疾患の定義、分類、病因、症状、診断、治療法、食事療法）	教科書を用い痛風・甲状腺疾患についてあらかじめ予習を行っておく。
第8回	肝・胆・膵 肝硬変症（疾患の定義、分類、病因、症状、診断、治療法、食事療法）	教科書を用い肝硬変症についてあらかじめ予習を行っておく。			事前・事後学修時間（分／授業1回） 180分／授業1回

教科書 [書名／著者名／出版社]	エッセンシャル臨床栄養学／佐藤和人／医歯薬出版株式会社	受講生へのメッセージ	臨床栄養学Ⅰは、栄養士として不可欠な知識を身につけるための重要な科目です。疾患や栄養状態に応じた食事管理を学ぶことで、患者一人ひとりに適した栄養指導を行う力を養います。授業では基礎から応用まで丁寧に解説しますので、積極的に授業に参加し、自らの知識を深めましょう。分からないことや疑問があれば、遠慮せず担当教員に質問してください。主体的な学びが、未来の栄養士の現場での自信につながります。頑張ってください。
参考書 [書名／著者名／出版社]	なし		

